

2021/06/07 (月)

朝の礼拝

聖書 創世記 1章20-25節 (旧約聖書1頁)

神は言われた。

「生き物が水の中に群がれ。鳥は地の上、天の大空の面を飛べ。」

神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。神はそれらのものを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」

夕べがあり、朝があった。第五の日である。

神は言われた。「地は、それぞれの生き物を産み出せ。家畜、這うもの、地の獣をそれぞれに産み出せ。」

そのようになった。神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。

光のスペクトル

雨上がり、空にかかる虹を「七色の虹」と言います。その色の帯を「スペクトル」と呼びます。順番は外側から赤、橙、黄、緑、青、藍となり、最も内側が紫となります。でも実際、虹はそんなにはっきりと色の帯を区別できるわけではありません。一つの色の帯もグラデーションがかかったように微妙に変化しています。

虹は“LGBTQ”運動という「ジェンダー(社会的性差)の平等」のシンボルですが、実際の虹と同様にその境界もあいまいなスペクトルだと理解されています。もう人の数だけジェンダーはあるとさえ言われています。さらに医学的にも男女の違いは概念であって、ひとり一人の人間は男女の間のどこかに位置しているとも言われています。

自然の営み、人間の身体も科学や医学によって日進月歩で飛躍的に解明されてきました。しかし自然、人間の身体には天文学的な未知な世界が残されています。それらは決して言語や論理（分類や法則等）によって割り切れるものではありません。それを古代イスラエル人は神様の言葉による創造という物語、神話として描いたのです。

これは私の推測ですが、虹の七色は英和の学年をあらわしていると思います。一つだけ「藍」の色が残りますが、それはセーラー服や夏服のネクタイの色をあらわしていると思います。英和の学年カラーは光のスペクトルと同様に一つの学年であると共に、ひとり一人はみな違うということです。そして光のスペクトルように輝いています。

（しばらく黙祷しましょう）

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

わたしたちは言葉や論理で目に見えるものを観測して法則を発見し、観察して分類しています。でも目に見えるものも見えない未知のものも悠久の流れで、絶えず不規則に変化しています。それを古代の人々は歌や踊り、壁画、物語、神話で表現しました。あなたに選ばれ、導かれた英和生が、その恵みと祝福の中で成長し輝いています。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活を守り、よき学びの時をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン